

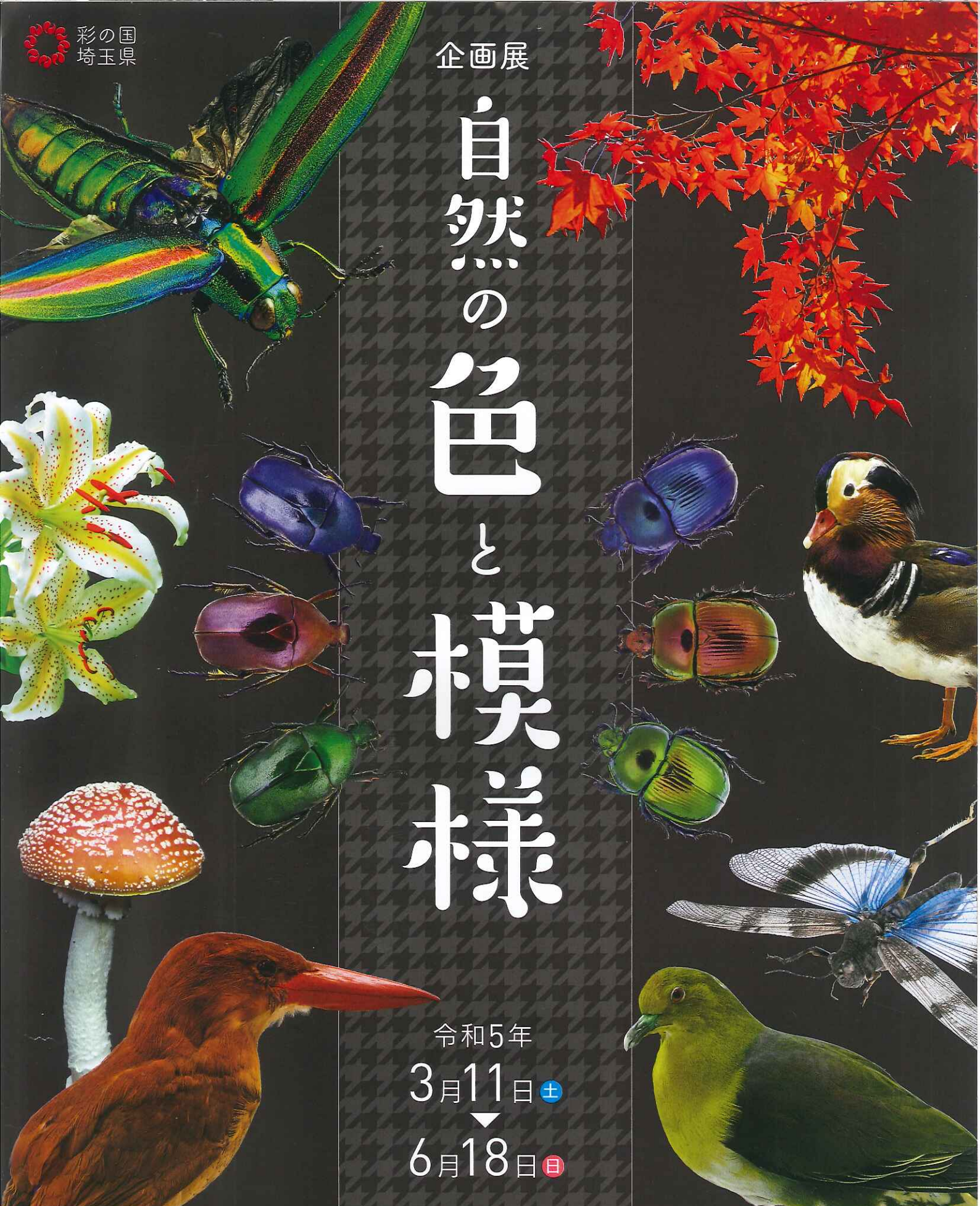
企画展

# 自然の色と模様

令和5年

3月11日<sup>土</sup>

6月18日<sup>日</sup>



 埼玉県立 自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

TEL 0494-66-0404

埼玉県立自然の博物館

検索

 @saitama\_shizen

〔開館時間〕9:00~16:30 ※入館は16:00まで

〔休館日〕月曜日  
(祝日・振替休日・ゴールデンウィークは開館)

〔観覧料〕一般200円 大学生・高校生100円  
中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその付添者1名は無料

# 自然の色と模様

自然界に存在する色や模様は驚くほど多様です。役割が明らかになっているものもあれば、そうでないものも多くあります。同じ種類の生き物でも、地域や個体の違いによって、様々なすがたをしています。

本企画展では、こうした自然の色や模様の役割や多様性、そして私たちの生活に活かされている色や模様などを楽しく紹介します。

## 生きぬくための色と模様

毒を持つ生き物に似せる、風景に溶け込むなど、生きるために大切な役割を果たしている色や模様を紹介します。



ハチに擬態するいろいろな昆虫  
(左から順にハナアブの仲間、スカシバの仲間、カミキリムシの仲間)

## 華麗に変身!色変わりの術

夏毛と冬毛、花が咲くと葉の色が変わる植物、傷つけると色が変わるきのこなど、色が変化する生き物とそのしくみを紹介します。



傷つけると色が変化するきのこ(イグチの仲間)

## みんなちがって、みんないい

同じ種類の生き物でも、地域や性別、個体のちがいによって様々な色や模様が見られます。いろいろと比べてみましょう!



色に様々な個体差があるカナブン

## 紫外線の世界

紫外線を使って、普段は見えない世界をのぞいてみます。どんな色や模様が現れるのでしょうか?



(確井徹氏撮影)



(確井徹氏撮影)

通常撮影(左)とUV撮影(右)したセイヨウカラシナ

## 驚きの色彩

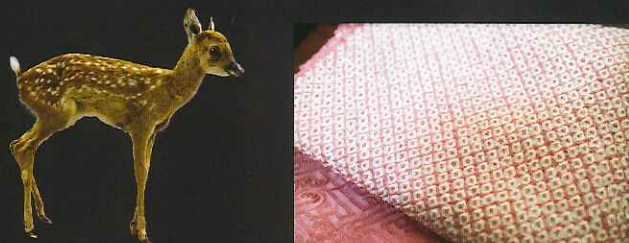
光の当たり具合で異なる色に見える昆虫や全身が真っ赤になる植物など、なぜこうなるの!?とびっくりするような色や模様を紹介します。



構造色を持つヤマトタマムシ 葉緑素を持たないツチアケビ

## 身の回りにある自然の色と模様

絵の具や染め物に使われる様々な生き物や岩石・鉱物や色にちなんだ名前を持つ生き物、自然をモチーフにした柄など、身近な自然の色と模様を紹介します。



ニホンジカ幼獣 鹿子模様の布地

 埼玉県立 **自然の博物館**

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

TEL 0494-66-0404

埼玉県立自然の博物館

検索



「ロバトン」「さいたまっち」

@saitama\_shizen



当館へのアクセス

自動車をご利用の場合  
関越自動車道 花園ICより国道140号を秩父方面に20km進み、「上長瀬」の信号を左折して300m

電車をご利用の場合  
秩父鉄道「上長瀬駅」下車徒歩5分、または「長瀬駅」下車徒歩15分

※ご来館の際は、マスクの着用にご協力ください。混雑時には入館制限を行う場合があります。

新型コロナウイルスの状況により、会期の変更等がある場合があります。最新情報を博物館のホームページ (<https://shizen.spec.ed.jp>) でご確認ください。